

「自然なすがた」

No.	項目	【5点】	【4点】	【3点】	【2点】	【1点】	備考（判定理由等）
1	河川の水量	河川に良く合った水量で流れている	-	河川に合った水量で流れている	-	水量が河川に合っていない	季節によって河川の流量は違いますので、調査時に流れている水量が適当であると思うかどうかで判断してください。 良く合っていると思えば5点、合っていないと思えば1点という具合です。
2	排水の流入	家庭等からの排水の流入はほとんどない	-	家庭等の排水がある程度流入する	-	家庭等の排水がたくさん流入する	川の状況を見て、家庭や工場等の排水が入っていると思うかどうかで評価してください。 排水が入っていないと思えば5点、たくさん入っていると思えば1点という具合です。
3	護岸の状況	人の手がほとんど加わっていない	-	親水護岸または自然石の石積護岸である	-	工夫の無いコンクリート護岸である	自然のままであれば5点、石を使った護岸であれば3点、コンクリートむき出しであれば1点という具合で評価してください。
4	川の中の障害物	障害物はない	-	障害物に魚道が設置されており生態系に影響は少ない	-	魚道が無く生息魚の移動が難しい	川の中の障害物とは、堰など段差のあるものです。
5	川の流れ	自然な状態で流れている	-	特に不自然ではない。	-	不自然であると思う	川の流れ（速さ、直線、曲線、川幅、水深が浅い、深いなど）から、自然な川に見えるかどうかで評価してください。 直線であっても自然な流れと思えば5点、人工的な流れだと思えば1点という具合で構いません。

「ゆたかな生物」

No.	項目	【5点】	【4点】	【3点】	【2点】	【1点】	備考（判定理由等）
1	魚や水生生物	魚や水生生物を多数確認できる	-	魚や水生生物を確認できる。	魚や水生生物を確認できないが、魚や水生生物はいると思う。	魚や水生生物は確認できないし、見たところ、いないと思われる。	魚や水生生物がたくさん確認できれば5点。魚や水生生物がいらないと思えば1点。 調査日によっては魚や水生生物が確認できないこともあるので、聞き取りでも構いません。
2	鳥や昆虫	鳥や昆虫を多数確認できる	-	鳥や昆虫を確認できる	鳥や昆虫を確認できないが、鳥や昆虫はいると思う。	鳥や昆虫を確認できない。見たところ、いないと思われる。	鳥や昆虫がたくさん確認できれば5点。鳥や昆虫がいらないと思えば1点。 鳴き声から判断しても構いません。 調査日によっては鳥や昆虫が確認できないこともあるので、聞き取りでも構いません。
3	水辺の植生	水辺または水中に現地に合った植物が茂っている	-	水辺または水中のところに植物を確認できる	-	水辺にも水中にも植物は存在していない	水辺または水中に、現地に合った植物がたくさん生えていれば5点。植物がなければ1点。 所々に生えていれば3点。見たままの感覚で評価して頂ければ良いです。
4	川の周囲の環境	水田や里山、山林が多くある。	-	水田や里山、山林がある。	-	水田や里山、山林はない。	川の周辺に水田や里山・山林など生物のすみ場があるか。 たくさんあれば5点。なければ1点。見たままを評価していただければ良いです。

* 生物調査が不可能な場合は周辺の住民や子供達からの聞き取りをまとめても構いません。

「水のきれいさ」

No.	項目	【5点】	【4点】	【3点】	【2点】	【1点】	備考（判定理由等・測定方法）
1	COD	1mg/L 以下	3mg/L 以下	5mg/L 以下	10mg/L 以下	10mg/L を超える	グループ単位で測定します。 微生物がよごれ（有機物）を食べるために使った酸素の量のことで、川のよごれを調べるめやすとして使われます。CODは微生物のかわりに薬品を使って水の中の酸素の使われる量を調べます。
2	溶存酸素	7.5mg/L 以上	-	5.0mg/L 以上	2.0mg/L 以上	2.0mg/L 未満	グループ単位で測定します。 水に溶けている酸素の量です。酸素がないと魚類をはじめとする水生動物は生きていません。溶存酸素が少ないということは、たくさん水中の酸素が使われているということです。微生物がよごれ（有機物）を食べるために酸素を使ったと考えられるので、溶存酸素が少ないと汚い川、多いときれいな川といえます。
3	透視度	100cm 以上	70cm 以上 100cm 未満	50cm 以上 70cm 未満	30cm 以上 50cm 未満	30cm 未満	グループ単位で測定します。 透視度計を用いて測定をします。 十字線の中央の四角形がはっきり見えるところの数値を読んでください。
4	水のおい	においを感じない	微**臭	弱**臭	中**臭	強**臭	個人単位で調査します。 水のおいを嗅いでもらい、においを感じた度合いで評価していただければ良いです。
5	水の見え	水はきれいに見える	-	すこし汚く見える	-	非常に汚く見える	個人単位で調査します。 水面、水中を見て、見たままを評価していただければと思います。

「水辺環境」

No.	項目	【5点】	【4点】	【3点】	【2点】	【1点】	備考（判定理由等）
1	水辺の見た目（視覚）	ごみや浮遊物はほとんどなくきれいである	-	ごみがところどころに少し見られる	-	ごみが多く不快である	川の周囲のごみ、浮遊物の量を見て、見たままを評価していただければと思います。
2	川の周囲の薫り（嗅覚）	心地よい薫りを感じる	-	気になるにおいを感じない	-	不快なおいを感じる	水のおいではないのでご注意ください。川や周辺のおいを感じたままに評価してください。
3	川の周囲の音（聴覚）	心地よい音を感じる	-	気になる音を感じない	-	不快な音を感じる	川やその周囲の音を聞いて感じたままに評価してください。
4	水辺の景色（感性）	潤い豊かな風景である	-	違和感のない風景である	-	水辺に適さない風景である	周りの景色を見渡して、見て感じたままに評価してください。
5	周囲の安全	崩れそうなところ、危険なところはない	-	崩れそうなところ、危険なところがある	-	崩れている箇所があり、危険	周囲を見渡して崩れているところや、段差や穴がないか見てください。川で安全に遊べるようなところであれば5点としてください。

「地域とのつながり」

No.	項目	【5点】	【4点】	【3点】	【2点】	【1点】	備考（判定理由等）
1	川の歴史・文化・観光資源	川の歴史や文化、観光資源をよく知っている	川の歴史や文化、観光資源を知っている	川の歴史や文化、観光資源を聞いたことがある	聞いたことはないが、あると思う	聞いたことがないし、ないと思う	川に関係する歴史（石碑、遺産）や文化（祭り、習わし）観光資源（渡舟、桜、花火）を知っている、聞いたことがあるかどうかで判断してください。
2	水辺への近づきやすさ	水辺に安全に簡単に近づくことができる	-	ところどころで近づくことができる	-	近づくことができない	安全に子供でも年配者でも川に近づけるようになっているかで判定してください。 見える範囲全体で評価してください。
3	人々の利用	日常的に多くの人に利用されている	-	周辺住民には利用されている	-	全く利用されていない	川が住民や観光客に利用されているかで判定してください。観光、散策、釣り、レジャー等何でも構いません。聞き取りでも構いません。
4	川の水の利用	多数に利用されていることをよく知っている	-	利用されていることを知っている	利用されているか知らないが、利用されていると思う	利用されているか知らないし、利用されていないと思う	川の水が水道水や工場の水、農業用水などに利用されているかどうか知っているかで判断してください。
5	環境活動	経常的に活発に活動をしている	-	時々、清掃活動等を実施している	-	環境についての活動も清掃活動も行われていない	清掃活動等が実施されていたり、住民参加行事に利用されているかどうかで判断してください。 聞き取りでも構いません。

周辺の住民や子供達からの聞き取りをまとめても構いません。